

宮本忠心 みやもと ちかひ 肺外科醫、醫學博士。明治四十四年(二月)二十一日静岡縣生れ、昭和六十二年八月十八日歿(二九二一六七)。昭和十一年東京帝國大學醫學部卒業。十五年傷痕軍人東京療養所外科主任、のち國も東京療養所外科醫長を經て、二十一年日本大學醫學部教授。結核の外科的療法に取組む。

著書 『戦争と醫學』(合著・帝國大學新聞社編、昭和十六年八月)、『五十年帝國大學新聞社』、『結核の科學』(昭和二十二年七月)、『白岩崎書店「科學叢書」』、『春のめどめをむかへる』、『少年少女の性科學』(昭和二十三年十一月)、『季節社「6・3文庫」』、『ローベルト・コッホ』(昭和二十五年四月)、『二十五日新教育專業協會』、『生と死の對決—空洞とたたりかう—肺外科醫の記録』(昭和二十六年十一月)、『二十八年光文社』、『學生生活』(合著・大河内一男編、昭和二十七年五月)、『二十五日新評論社』等。